

平成28年度第4回教育研究評議会議事録（案）

日時 平成28年6月15日（水）14：30～16：35 TV会議
場所 事務局棟5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 伊東幸、石井、東郷、前田、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木滋、今野、寺村、菅野、谷、酒井、西原、塩尻、加藤、佐古、中山、河合、鳥山、平岡、原、恒川、三村、朴、澤田の各評議員
欠席者 木村委員
陪席者 鈴木庸、村松の各監事

I 前回議事録の承認について

平成28年度第3回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 国立大学法人静岡大学学則、大学以外の教育施設等における学修の単位の認定に関する規程及び入学前の既修得単位等の単位の認定に関する規程の一部改正について

石井委員から、学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う国立大学法人静岡大学学則、大学以外の教育施設等における学修の単位の認定に関する規程及び入学前の既修得単位等の単位の認定に関する規程の一部改正について、資料1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学大学院規則の一部改正について

石井委員から、学校教育法施行規則の一部改正に伴う静岡大学大学院規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学学士課程及び大学院修士課程等の成績優秀者に対する授業料免除に関する要項の一部改正について

丹沢委員から、学生への幅広い経済的支援を実現するため静岡大学学士課程及び大学院修士課程等の成績優秀者に対する授業料免除に関する要項の一部改正について、資料3により提案があり、審議した。

塩尻委員から、学士課程の対象者を第3学年及び第4学年としているが、在学するのは4年間なので第2学年及び第4学年とすることも考えられる。第3学年及び第4学年とした理由について質問があり、丹沢委員から、第2学年では第1学年のみのデータで判断することになってしまうので第1学年及び第2学年の十分なデータで判断するため第3学年及び第4学年とした旨、回答があった。

本要項を実際に稼働して不都合があれば見直しすることとし、原案どおり承認し、平成28年6月24日に開催する静岡大学経営協議会に諮ることとした。

4 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

石井委員から、COC+の採択に伴い、本学が地域志向の大学であることを明確化するための国立大学法人静岡大学学則の一部改正について、資料4によ

り提案があり、審議した。

加藤委員から、学則の位置付けを考慮すれば現状でも内容に過不足はなく、学則に規定することには違和感があり、本学ホームページに記載するなど他の手だてがあるのではないかと、また、原委員から、COC+の公募要領には、学則に限定せず、学則等に記載すればよいことになっているので、COC+が長い期間であればよいが、学則第1条に地域と規定することには違和感がある旨、意見があった。

石井委員から、第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の重点支援の3つの枠組みのうち、本学は重点支援①（地域貢献）を選択したが、学則以外の規則に規定することは考えにくい旨説明があり、議長から、COC+と切り離しても地方大学として存在感あるように地域との関係は切り離せない旨、発言があり、持ち帰り審議とし、次回、審議・承認することとし、平成28年6月24日に開催する静岡大学経営協議会に諮ることとした。

5 静岡大学静岡COC+推進会議規則の制定について

石井委員から、COC+事業の推進を担う静岡COC+推進会議を置くための静岡大学静岡COC+推進会議規則の制定について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

石井委員から、本会議は企画戦略会議の前後に開催する予定である旨、説明があった。

6 静岡大学自主防災規則の一部改正について

前田委員から、防災管理者の位置付けを新たに規定すること等静岡大学自主防災規則の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

菅野委員から、今回別表4（浜松地区対策連絡本部の構成及び任務）が削除されるが、浜松市に所在する附属学校との連絡については、マニュアルに記載されるのかとの質問があり、前田委員から、マニュアルにより、浜松市に所在する附属学校は静岡大学浜松地区非常災害対策連絡本部と連絡を取り、静岡市及び島田市にある附属学校園については静岡大学非常災害対策本部と連絡を取ることとなる旨、回答があった。

7 工学部のアドミッション・ポリシーについて

石井委員及び佐古委員から、工学部後期日程入試の変更に伴う工学部アドミッション・ポリシーの改定について資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

石井委員から、全学教育基盤機構で3ポリシーの見直しを進めており、年度内に本会議に諮る予定である旨、説明があった。

8 ベトナム教育訓練省（ベトナム）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、ベトナム教育訓練省（ベトナム）との大学間交流協定の締結について、資料8により提案があり、審議した。

加藤委員から、大学・部局間交流協定締結申請書の今後の交流計画に記述されている「放射化学」は「理学部」へ修正すること、最大3名まで受け入れることをベトナム側が了解していることを明記した文書を用意すること、覚書へ

の補足書1に記述されているestablishを他の適切な単語へ修正すること及び法務の専門家が目を通すことの要望があった。

鈴木委員から、大学・部局間交流協定締結申請書の今後の交流計画の記述については、「放射化学」は「理学部」へ修正する旨、最大3名まで受け入れることを明記した文書を用意することを了解した旨、また、法務の専門家へは必要に応じて相談している旨、回答があり、覚書への補足書の文言については、理学部と国際交流センターで調整することで承認した。

9 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

伊東暁委員から、平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について、資料9により提案があり、審議した。

伊東暁委員から、修正意見があれば平成28年6月20日までに連絡願いたい旨、依頼があり、平成28年6月24日に開催する静岡大学経営協議会に諮り、審議・承認した後に文部科学省への提出期限である6月中に提出することとした。

なお、今後、修正があった場合は議長に一任することで承認した。

10 「第2期中期目標期間の教育研究の状況についての評価」について

伊東暁委員から、「第2期中期目標期間の教育研究の状況についての評価」について、資料10により提案があり、審議した。

伊東暁委員から、修正意見があれば平成28年6月20日までに連絡願いたい旨、依頼があり、平成28年6月24日に開催する静岡大学経営協議会に諮り、審議・承認した後に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構への提出期限である6月中に提出することとした。

なお、今後、修正があった場合は議長に一任することで承認した。

伊東暁委員から、第3期中期目標期間の各部局の措置事項について検討するように評価会議委員へ伝えてあるが、進捗管理システムの入力は第2期中期目標期間と第3期中期目標期間の切り替えの関係で7月になってからになるので、それまでに検討願いたい旨依頼があった。

III 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、平成28年度第3回企画戦略会議（平成28年6月1日開催）について、資料11により報告があった。

2 平成27年度決算について

前田委員から、平成27年度決算について、文部科学省への提出期限であった平成28年6月10日に提出した旨報告があり、次いで資料12により決算の概要の説明があった。

3 平成28年4月入学大学院入学者選抜試験実施状況について

石井委員から、平成28年4月入学大学院入学者選抜試験実施状況について、資料13により報告があった。

4 平成28年3月卒業・修了者の進路状況について

丹沢委員から、平成28年3月卒業・修了者の進路状況について、資料14により報告があった。

5 タラス・シェフチェンコ・キエフ国立大学（ウクライナ）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

鈴木委員から、タラス・シェフチェンコ・キエフ国立大学（ウクライナ）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料15により報告があった。

6 熊本地震に係る義援金について

前田委員から、熊本地震に係る義援金について、資料16により報告があった。

7 一般社団法人国立大学協会平成28年度第1回通常総会及び国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議について

前田委員から、一般社団法人国立大学協会平成28年度第1回通常総会及び国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議について、資料17により報告があった。

朴委員から、同会議における来年度の就職活動の開始時期に係る説明の有無について質問があり、議長から、674頁から675頁に資料があるが、これ以外の説明はなかった旨、回答があった。

関連して議長から、卓越大学院等、国立大学に関わる多くの閣議決定がされているが、学生への経済的支援にも影響するため、本学の大学院改組（平成30年度目途）を関連させて検討する必要がある旨の発言があった。

IV その他

1 博士課程学生・ポスドクのキャリアパスについての第2回目アンケートの実施について

丹沢委員から、博士課程学生・ポスドクのキャリアパスについての第2回目アンケートの実施について、資料17により協力依頼があった。

2 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）メールマガジンおよびニュースレター掲載記事募集について

石井委員から、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）メールマガジンおよびニュースレター掲載記事募集について、資料18により協力依頼があった。

3 その他

丹沢委員から、過日、開催した障がい学生支援講演会についての報告及び謝辞があった。

以上